

スカウトフォーラム：社会課題解決シート

フォーラムテーマ(2020年)：私たちにできる社会貢献とは

ACT 5 フォーラム採択事項のとりまとめ

- ① 自分たちの地域・県連盟としての、主たる社会課題を一つ選択しましょう。
- ② その課題解決のために、どのような社会貢献活動ができるか検討してみましょう。

県連盟	静岡県連盟
社会課題タイトル	防災
関連するSDGs目標	3、11、13
地域における課題	<ul style="list-style-type: none"> ・間伐、整備されていない森。 ・介護施設の人員不足。すぐに辞めてしまう方が多い。コロナ禍による認知症の進行等。 ・募金活動一若手が少ない。スカウト活動の理解が少ない。 未来を創っていく世代の声が少ない。 ・公園清掃一ゴミがある。利用者マナーが悪い。地域社会に対して関心がない人が多い。 ・地域の担い手が少ない。 ・ボーイスカウト活動に対する理解が薄い。ボーイスカウトじゃなければできないことも多い。
課題解決に取り組む理由	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃使用している場所に対する感謝の気持ちを表す。災害時の防衛線。木が育つことにより土砂崩れを防ぐ。町中に土砂が流入する被害拡大を防ぐ対策となる。 ・何もやることがないと生きる気力を失う。私たちが少しでも力になって話し相手でもよいので認知症を防ぐことにつながれば。 ・スカウト活動のみで地域活性化は困難。地域の協力は必要不可欠。地域の方々の理解はなくてはならない。 ・利用者マナーが悪い一地域の方々のモチベーションを下げ、活性化を妨げることとなりよくない。 ・地域の人とつながる一地域が良くなる。 ・ボーイスカウトを知っている人8割、だが活動をちゃんと答えられる人は少ない。社会貢献をしていることを多くの人に知ってもらいたい。 ・スカウト活動は地域の方の協力があってこそ。地域の人に知ってもらうことで活動の幅が広がり、より社会貢献できるのでは。 ・知ってもらえるとより地域の人に使ってもらえる、役に立つ。 ・知ってもらえることで、地域の人たちに自分たちができていることを知ってもらえる。自分たちが活動できる場、手伝える場が増え、社会貢献が地域に根付いていくものになると思う。
課題解決のために考えた社会貢献活動の例	<ul style="list-style-type: none"> ・防災体験会や介護施設への訪問を積極的にやっていくことがよい。ベンチャーの間でも地域ごとのつながりが欲しい。ほかの地区の人たちと一緒に県内のベンチャー活動を高めていきたい。 ・直接的に人と接する活動を増やしていく。SNSによる発信、報告によりスカウト活動を見る機会を増やす。 ・ボーイスカウトはこういうことをしていると発信するより、実際の活動を見てもらったほうが早い。見えるところで活動する。 ・体験会がボーイスカウトをよく知ってもらうことにつながると考える。コロナ禍で難しいが、できるようになった時に行うのが良い。
フォーラムで採択した内容	<p>私たちは、避難訓練など地域活動にボーイスカウトとして積極的に参加して、スカウト活動で培った知識や技能を發揮していきます。</p>
採択した内容に対するみんなの思い	<p>今まで培ったスカウトスキルを地域の人たちのために使う場がなかったなので、地域の人のために使いたい。</p>